第4-146号
受付
4.9.07
和歌山県理学療法士会

会員　各位

令和4年8月31日

公益社団法人　日本理学療法士協会
第62回近畿理学療法学術大会
大会長　安井　常正
準備委員長　堀　晋之助

第62回近畿理学療法学術大会　演題募集期間延 のお知らせ（第2報）

時下、会員各位におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

6月にご案内致しましたように、第62回近畿理学療法学術大会(ハイブリッド開催)を下記のとおり開催いたします。一般演題の募集期間を延長致します。感染状況等を鑑み、参加しやすい発表形式に変更しておりますので、多くのご応募およびご参加をお待ちしております。

記

開催日時：2023年2月5日（日）

会　　場：和歌山県民文化会館（和歌山市小松原通1丁目1番地　和歌山県庁正門前）

大会テーマ　：「理学療法の創発　ー医療・介護・予防分野での可能性ー」

演題登録ですが、当初は9月1日（木）まで でしたが、募集期間を延長します !!

↗切→　9月15日（木）正午

一般演題は口述発表のみとなっております。ポスター発表はございませんのでご注意ください。

	当日の登壇	事前録画データ提出
LIVE発表 （約40演題）	**会場 or web 参加による登壇**	○
オンデマンド発表 （約60演題）	なし	○

※LIVE発表、オンデマンド発表の選択はできません。またLIVE発表の演題からセレクション発表を選定させて頂きます。
※LIVE発表は、会場もしくはweb参加(ZOOMでの参加)による登壇の選択はできますので、来場できない場合でも安心してご発表頂けます。

※一般演題：100演題を募集　（すべて口述発表）
応募方法および発表形式の詳細については、大会ホームページより
大会ホームページ：https://www.kwcs.jp/kinkipt62/index.html

その他諸連絡は、大会HP、大会SNS上で行う予定です。定期的にご確認下さいますようお願い申し上げます。

（公社）和歌山県理学療法士協会　近畿理学療法学術大会準備委員会

第62回近畿理学療法学術大会

2023 2.5(SUN) 和歌山県民文化会館(ハイブリット開催)

特別講演 -運動器理学療法実践のレベルアップのためのヒント-

高﨑 博司先生　埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科

シンポジウム 「理学療法士としての新たな創発」

テクノロジーの力で、介護を変え、老後を変え、世界を変えるスタートアップ企業の挑戦

坪井大和　株式会社Rehab for JAPAN

創発を生むための組織作り

渕上健　岸和田リハビリテーション病院

数値化できるアウトカムの広がりとリハビリテーション×人工知能の可能性

中口拓真　星野クリニック

スマホアプリを活用したオンライン完結型重症化予防 -デジタルヘルススタートアップの挑戦-

萩原悠太　株式会社PREVENT

教育講演

1.生活習慣病対策に関連する各種学会の専門職育成制度と現状

森本信三　白浜はまゆう病院

2.臨床研究の知識はなぜ必要なのか？

山本周平　信州大学医学部附属病院

3.脊柱疾患における疼痛の考え方と評価と介入

三木貴弘　札幌円山整形外科病院

4.脳卒中片麻痺者の歩行再建の理論と実践と創意と工夫と評価と解釈

中谷知生　宝塚リハビリテーション病院

5.脳卒中と循環器病克服に向けた理学療法の挑戦

金居督之　甲南女子大学　看護リハビリテーション学部 理学療法学科

6.骨関節疾患・脳血管疾患などに活かせる循環器系の評価と理学療法

西村真人　中国労災病院

7.理学療法士がリハ栄養を実践する意義

長野文彦　熊本リハビリテーション病院

8.要介護高齢者における社会参加の特徴

尾川達也　西大和リハビリテーション病院

https://www.kwcs.jp/kinkipt62/index.html